

2006.7.10

物理化学 IV (加藤) 宿題レポート その3

途中の過程も書くこと。紙面が足りない場合はレポート用紙等を付け足してホッチキス等で綴じること。

(締め切り：次回授業 (7/18) 開始時に集めます)

(番号) _____ (氏名) _____

問題 水素分子の原子価結合法において、テキスト p.134 の(10.26)式と p.136 の(10.47)式が同一であることをブラケットの展開を用いて示せ。